

第6学年1組 外国語科学習指導案

令和3年11月4日(木) 第5校時
 在籍児童数 男子21名 女子17名 38名
 場 所 6年1組
 授 業 者 教諭 坂上 勇紀

- 1 単元名 Unit6 「Let's think about our food.」
 (NEW HORIZON Elementary English course 6)

2 単元について

本単元は小学校学習指導要領外国語(4)話すこと〔発表〕ウ「身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする」を受けて設定している。

本単元ではこのねらいを達成するために、児童にとって身近な「食」を取り扱いながら基本的な表現に慣れ、「特定の相手のためのメニュー」を考えさせることで自分の思いを主体的に表現する姿が育まれると考える。また、本単元の前段階として家庭科「まかせてね 今日の食事」を学習することで、食材の栄養素を学び、食材に対しての理解を深めた上で、本単元の学習に入っていきたい。

また、世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることで外国語の背景にある文化に対する理解を深めることもでき、自分の思いだけでなく相手を意識し、考えることで表現の幅や思考が広がる題材でもある。

3 児童の実態について

外国語の学習に関するアンケートを実施したところ、以下のような結果であった。

- ① 「外国語を使ってコミュニケーションをとりたいと思いますか。」

| | | | |
|---------|-------------|-----------|--------|
| とりたい | どちらかというとりたい | あまりとりたくない | とりたくない |
| 19 → 25 | 12 → 9 | 2 → 3 | 5 → 1 |

- ② 「外国語を使って自分のことを『伝えたい』と思いながら活動できますか。」

| | | | |
|---------|-------------|---------|------|
| できる | どちらかというどできる | あまりできない | できない |
| 20 → 20 | 10 → 14 | 8 → 4 | 0 |

- ③ 「友達のことを『知りたい』と思いながら外国語の学習に取り組むことができますか。」

| | | | |
|---------|-------------|---------|-------|
| できる | どちらかというどできる | あまりできない | できない |
| 15 → 21 | 16 → 12 | 6 → 4 | 1 → 1 |

- ④ 「『なんのために』話すのかを意識しながら外国語の学習に取り組むことができますか。」

| | | | |
|---------|-------------|---------|-------|
| できる | どちらかというどできる | あまりできない | できない |
| 18 → 24 | 12 → 10 | 7 → 3 | 1 → 1 |

数値 [単位：人] (4月のアンケート結果 → 9月のアンケート結果)

他教科の学習においても自分なりの思いをもち、真剣に課題に取り組むことができる児童が多いが、外国語に関しては英語を話す技能についての苦手意識をもつ児童が一定数おり、それらの児童がどの項目においても否定的な回答をしていることが分かった。その理由としては、「英語での言い方が覚えられないから。」「友達と話すなら日本語でコミュニケーションを取る方が楽だから。」が挙げられた。単語やセンテンスを覚えられないことが、学習への苦手意識を高め、楽しめない理由となっていることが考えられる。そのため、英語に対する苦手意識を徐々に払拭させることができるように、基本の反復練習時間を十分にとるようにするとともに、モジュールやEight Up!の時間を活用して気軽にコミュニケーション活動を楽しめるようにしたり、4itemsとして提示している「Enjoy mistakes」をより一層意識させたりして、「文法の正しさ」よりも「伝えようとする姿勢」が大切であることを児童に伝えていけるような授業を展開していきたい。

4 指導観

本単元は、「先生のために弁当メニューを作る」というゴールに向けて、食べ物の栄養素や食材を通じた日本と世界とのつながりについて考えながら自身の考えや思いを整理し、表現することができるように構成している。児童はこれまでに、自己紹介や欲しいもの、行きたい国を伝えるなど、ほとんどが、主語が“I（私）”の、自分自身のことを伝え合う活動を通して外国語に慣れ親しんできた。本単元でも、自分が昨晚食べたものや普段よく食べるものについてのやり取りは行うが、それを通して身に付けた知識・技能を活用して、他者に配慮しながら、「食材」を主語とする産地や栄養グループの説明をする、「特定の相手のために提案する」という初めての活動である。そこで、第1時に学習計画を立てる際にそのメニューを作る目的や理由を伝えることの必要性を教師と児童が共通理解をすることで、これまで以上に責任が生まれるとともに、目的意識や学習への意欲も高められると考える。本単元の言語材料だけに捉われずに、インタビューをしたり食材やメニューを調べたりと、児童一人一人に、既習表現を活用したり、家庭科で学習した栄養について関連させたりする必然性を感じさせながら単元のゴールに向かわせることができるようにする。

5 研究テーマとの関わり

研究主題

「主体的にコミュニケーションを図る児童の育成」
～外国語活動・外国語の授業を通して～

目指す児童像

「伝えたい・知りたい思いをもち、外国語を用いて、目的や場面、状況に応じたコミュニケーションを図ろうとする児童」

仮説1 英語に触れる機会を多くすれば、主体的にコミュニケーションを図る児童を育成できるであろう。

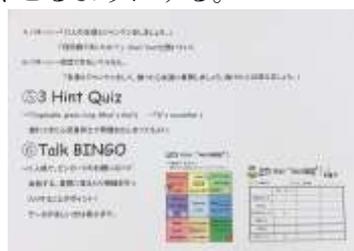
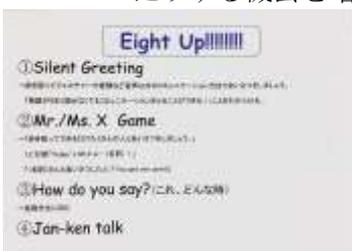
【仮説1に対する手立て】

- 1-① 教育課程の中にモジュールを取り入れ、1週間の中で英語に触れる機会が多くなるようにする。(モジュールの内容は児童が立てた学習計画に合わせて臨機応変に作成する。)
- 1-② iPadや英和辞典を活用し、知りたい英単語や表現をいつでも調べられるようにすることで、コミュニケーションへの意欲を高められるようにする。



「これは英語で何と云えばいいのだろう。」と思ったことをすぐに調べることを習慣にする。

- 1-③ 1単位時間の中で「Eight Up!」を活用し、友達同士で関わったり、自分の想いを表現したりする機会を増やせるようにする。

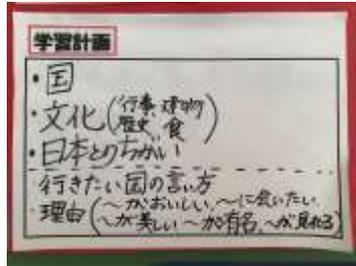
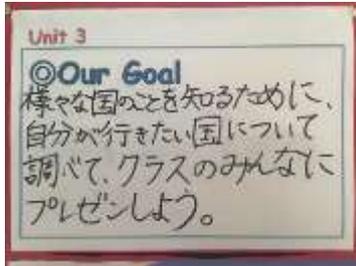


新しく学ぶ単語や表現と、既習事項を合わせながら、Our Goalに向けて必要なコミュニケーションをスパイラル的に身に付けさせる。

仮説2 話す(伝える)目的を明確にすれば、主体的にコミュニケーションを図る児童を育成できるであろう。

【仮説2に対する手立て】

2-① 単元の初めに「Our Goal」を児童とともに作成し、学習計画を立てることで、必然性のあ
るコミュニケーションが図れるようにする。



「担任の先生に〇〇になってもらうために弁当メニューを作る」という目標設定をし、児童に〇〇の部分を決めさせることで、目的を明確にさせ、そのための活動を必然的に考えさせることができる。

2-② 「Review Sheet」を工夫し、児童が自らの学習を調整しながら学ぶことができるようにする。



児童が「できるようになったこと」「できるようになりたいこと」を整理できるようにし、「Our Goal」に向けての自らの学習の進捗を確認することができるようにする。

6 単元の目標

- ・食材を通じた世界とのつながりや食べ物の栄養素などについて聞いたり言ったりすることができる。(知識及び技能)
- ・自分のことをよく知ってもらうために、考えたオリジナル弁当メニューについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。(思考力、判断力、表現力等)
- ・自分のことをよく知ってもらうために、考えたオリジナル弁当メニューについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。(学びに向かう力、人間性等)

7 言語材料

○表現 What did you eat for? I ate ~. I usually eat ~. ~ is from....
~ is in the...group.

○語彙 食べ物 (rice など)、食事 (breakfast など)、食材 (pork など)
果物・野菜 (broccoli など)

8 単元の評価規準

| | 聞くこと (聞) | 話すこと [やり取り] (や) | 話すこと [発表] (発) |
|-------|--|--|--|
| 知識・技能 | <p><知識> I ate ~. I usually eat ~. ~ is from ~ is in the ...group. 及びその関連語句などについて理解している。</p> <p><技能> 食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、聞き取る技能を身に付けている。</p> | <p><知識> I ate ~. I usually eat ~. ~ is from ~ is in the ...group. 及びその関連語句などについて理解している。</p> <p><技能> What did you eat for ~? I ate ~. などの表現を用いて、考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。</p> | <p><知識> I ate ~. I usually eat ~. ~ is from ~ is in the ...group. 及びその関連語句などの言い方を理解している。</p> <p><技能> I ate ~. I usually eat ~. ~ is from ~ is in the ...group. 及びその関連語句などを用いて話す技能を身に付けている。</p> |

| | | | |
|---------------|---|---|--|
| 思考・判断・表現 | 相手のことをよく知るために、好きなものやどんな食べ物を食べたいか具体的な情報を聞き取っている。 | 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分が作った弁当や相手が作った弁当などについて、お互いの考えや気持ちを伝え合っている。 | 自分のことをよく知ってもらうために、考えた弁当について、相手に自分の思いが伝わるように話している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 相手のことをよく知るために、好きなものやどんな食べ物を食べたいか具体的な情報を聞き取るようとしている。 | 自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分が作った弁当や相手が作った弁当などについて、お互いの考えや気持ちを伝え合おうとしている。 | 自分のことをよく知ってもらうために、考えた弁当について、相手に自分の思いが伝わるように話そうとしている。 |

9 単元計画（8時間扱い）※うち4時間分はモジュール扱いとする。

| 時 | ◆目標 ○活動 | 評 価 | | | |
|---|---|-----|-------|-----|----------------------------------|
| | | 知 技 | 思 判 表 | 態 度 | ◎評価規準<評価方法> |
| 1 本 時 | <p>◆単元のゴールを設定し、学習計画を立てる。また、食べたものやそれらの産地についてのやり取りのおおよその内容を聞き取ることができる。</p> <p>○Eight Up! “Freeze Tag” ○Small Talk 話題：お弁当 ○Our Goal 学習計画作成 ○Let’s Chant “Are you hungry?” ○Let’s Try1 ポインティングゲーム ○Review</p> | | | | ★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。 |
| 2 モ ① モ ② モ ③ (モ ジ ュ ー ル 1 5 分 × 3) | <p>◆食べたものやそれらの産地についてのやり取りのおおよその内容を理解することができる。</p> <p>○Eight Up! モ①“ Mr./Ms.X” モ②“3 Hint Quiz” モ③“Stereo Game” ○Small Talk 話題：モ①昨日の夕食 モ②食材の産地 モ③食材の栄養素 ○Let’s Sing “What did you eat?” ○Starting Out モ①No 1 ゴールイメージを共有し、重要表現を確認する。 モ②No 2, 3, 4 主に“産地”についてのやり取りを行う。 モ③No 5 栄養素の表現にふれ、弁当作りのやり取りや発表にいかす。 ○Let’s Read and Write モ① I ate~, モ② I usually eat~. ○Sounds and letters ○Review</p> | | | | ★本時では、目標に向けて指導を行うが、記録に残す評価は行わない。 |

| | | | | | |
|-------------------------------------|---|---|---|---|---|
| 3 | <p>◆食べたものやその産地について言ったり聞いたりすることができる。</p> <p>○Eight Up! “BINGO” ○Small Talk 話題：家でよく出されるメニュー ○Let’s Sing “What did you eat?” ○Let’s Listen1 ○Let’s Try2 Point and Say Game ○Let’s Read and Wright ~is from …. ○Review</p> | や | | | <p>◎食べ物やその産地についての関連語句などについて理解している。 <行動観察・WS></p> |
| 4 モ④ モ⑤ モ⑥ (モジュール15分×3) | <p>◆食べ物がどの栄養素のグループに入るのかについて言ったり聞いたりすることができる。</p> <p>○Eight Up! モ④“BINGO” モ⑤“BINGO” モ⑥“BINGO” ○Small Talk 話題：モ④広告の中の食材の産地 モ⑤広告に載っている食材の栄養素 モ⑥給食の食材の栄養素 ○Let’s Sing “What did you eat?” モ④○Let’s Listen2 モ⑤⑥○Let’s Try3 Point and Say Game モ⑥○Let’s Read and Wright ~is in the …group. ○Review</p> | や | | | <p>◎食べ物がどの栄養素のグループに入るのか尋ねたり、答えたりしている。<行動観察></p> |
| 5 | <p>◆担任の先生のための「オリジナル弁当メニュー」を作成することができる。</p> <p>○Eight Up! “Freeze Tag” ○Small Talk 話題：担任の先生向けのメニュー ○Let’s Sing “What did you eat?” ○Let’s Chant “Are you hungry?” ○オリジナルメニューの作成を行う。 Do you like~? ~is from …. ~is in the …group. ○Review</p> | | 聞 | 聞 | <p>◎相手のことをよく知るために、好きなものやどんな食べ物を食べたいか具体的な情報を聞き取っている。<行動観察> ◎相手のことをよく知るために、好きなものやどんな食べ物を食べたいか具体的な情報を聞き取ろうとしている。 <行動観察></p> |
| 6 モ⑦ モ⑧ モ⑨ (モジュール15分×3) | <p>◆聞き手に配慮しながら、「オリジナル弁当メニュー」の発表に向けてやりとりをすることができる。</p> <p>○聞き手に配慮しながら、思いが伝わるように発表練習を行う。 モ⑦ペアで発表練習を行う。 話す速さ・声の大きさの確認を行う。 モ⑧グループで発表練習を行う。 目線・身振りの確認を行う。 モ⑨ペアで発表練習を行う。 動画を撮り合い、課題を見つける。 ○Review</p> | や | や | や | <p>◎~is from …~is in the …group.などの伝え合う技能を身に付けている。<行動観察> ◎自分が作った弁当や相手が作った弁当について、お互いの考えや気持ちを伝え合っている。<行動観察> ◎自分が作った弁当や相手が作った弁当などについて、お互いの考えや気持ちを伝え合おうとしている。 <行動観察></p> |

| | | | | |
|---|--|---|---|---|
| 7 | ◆聞き手に配慮しながら、「オリジナル弁当メニュー」を伝えることができる。 | | | |
| | ○Eight up! “How do you say” ○Small Talk 話題：○○先生向けのメニュー ○Let’s Chant Are you hungry? ○○○先生に向けたメニューを発表する。 ~is from …. ~is in the …group. ○Review | 発 | 発 | 発 |
| 8 | ◆世界の料理や文化について具体的に聞き取ることができる。 | | | |
| | ○Eight up ! モ⑩“Bamboo Shoot” モ⑪“3hint Quiz” モ⑫“Talk BINGO” ○Small Talk 話題：日本と世界の食糧事情 モ⑩⑪⑫○Let’s Sing What did you eat? モ⑩○Do you know? モ⑪○Let’s Travel! モ⑫○Sounds and Letters ○Review | 聞 | | |

モ⑩
モ⑪
モ⑫
(モジュール15分×3)

10 本時の展開

目標 単元のゴールを設定し、学習計画を立てるとともに、食べたものやそれらの産地についてのやり取りのおおその内容を聞き取ることができる。

準備 デジタル教材…デ教、タブレット…TB、振り返りカード…振カ、
 ピクチャーディクショナリー…PD

○本時の展開 (1 / 8)

| 時間 | ○児童の活動 | HRT | 準備物 |
|----|--|--|-----|
| 1 | ○Greeting ・挨拶をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶する。 4itemsを確認する。 | |
| 3 | ○Eight Up! ・食べ物を使って”Freeze Tag”を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 食べ物や食材の単語をいくつか取り上げてから行うようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <仮説に対する手立て> 1ー③ 1単位時間の中で「Eight Up!」を活用し、友達同士で関わったり、自分の思いを表現したりする機会を増やせるようにする。 </div> | |
| 1 | ○Today’s Target | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> Our Goal をつくり、学習計画を立てよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 本時の Target を板書する。 | |

| | | | |
|---|--|---|---|
| 10 | <p>○<u>Small Talk</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HRT と ALT の会話から、場面や状況を把握し、自らの学習につなげることができるように聞く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 黒板とタブレットを目的に合わせて児童に見させるようにする。 (弁当の写真→TB 栄養素グループ→黒板) ・ 弁当が日本の文化であることを児童と共有し、英国のランチボックスの文化を伝え、違いを意識させるようにする。 | <p>弁当の写真または絵</p> <p>大型テレビ</p> <p>ALT との動画</p> <p>TB</p> |
| <p>例</p> <p>HRT: So, Robert-chan(愛称), Do you know BENTO? It's Japanese culture. I heard you are on a diet. So I made a BENTO menu for you. I show you.</p> <p>This is "Special Healthy Balance BENTO" This is a yellow BENTO Box. You like yellow, right? This is grilled salmon. The salmon is from Norway. It's in the red group. This is Tamagoyaki. The egg is also in the red group. This is broccoli. It's from Saitama. It's in the green group. This is a rice boll. It's from Niigata, my hometown. It's in the yellow group. Here you are.</p> <p>ALT: Thank you. Looks yummy. I also made a BENTO for you. Look at this.</p> <p>HRT:Oh, Is this BENTO?</p> <p>ALT: Of course. This is British style BENTO. Bread, Chocolate, snacks, and juice.</p> <p>HRT: Ummmm...</p> <p>ALT: What? Any problem? Everyone, please give me advice!!</p> | | | |
| <p><仮説に対する手立て></p> <p>2-① 単元の初めに「Our Goal」を児童とともに作成し、学習計画を立てることで、必然性のあるコミュニケーションが図れるようにする。</p> | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 実物の弁当を児童に見せながら食材を栄養素グループに分類し、児童が視覚的にも分かるようにする。 ・ 児童に Small Talk を手掛かりに課題を把握させ、HRT が喜ぶような工夫を出せるようにする。 | <p>栄養素グループ表</p> <p>弁当</p> |
| 10 | <p>○学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Our Goal の設定 ・ 学習計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習のゴールイメージをもたせる。 ・ Our Goal に到達するために必要な知識技能や、工夫を児童から出させるようにする。 | <p>Our Goal, 学習計画用紙</p> |
| 5 | <p>○<u>Let's Chant</u></p> <p>♪Are you hungry?</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞き取れたことを共有する。特に、産地の伝え方を必ずおさえるようにする。 ・ 児童とやり取りしながら、聞かせたり歌わせたりして慣れさせる。 | <p>デ教</p> |

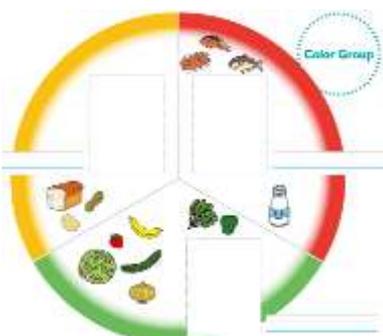
| | | | |
|---|--|---|-------|
| | <p>Are you hungry? Yes, I am. Beef curry, miso soup, oden! Potatoes, tomatoes, ramen! The beef is from Australia. —Really? I like beef curry. The potatoes are from Hokkaido. —Really? I like potatoes. The tomatoes are from Kumamoto. —Really? I like tomatoes. The shoyu ramen is from Chiba. —Really? I like shoyu ramen.</p> | | |
| 4 | <p>○Word Link • PDp.8,10,11の食べ物や食材の単語を復唱する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 出てきた単語について適宜問答し、児童に飽きさせないようにする。 • HRT の好きな食べ物が出てきたら伝えるようにする。 • 発音練習をリードし、児童に復唱させるようにする。 | デ教 PD |
| 5 | <p>○Let's Try1 ポインティングゲーム • 指導者が言う食べ物や食材を聞いて、PD誌面にある絵をさし示す。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 誌面上にある食べ物や食材を表す語を言い、それに該当する絵をさし示すように言う。 | PD |
| 5 | <p>○Review • Target に対する成果をまとめる。 • Review Sheet に記入する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 学習計画を立てたことに加え、児童が分かった表現や考えたこと、これからできるようになりたいことなどを表現させるようにする。 • 児童の学びに対する称賛をするとともに、次時の見通しをもたせる。 | 振カ |
| | | <p><仮説に対する手立て> 2-② 「Review Sheet」を工夫し、児童が自らの学習を調整しながら学ぶことができるようにする。</p> | |
| 1 | <p>○Greeting • 挨拶をする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 本時の Target に対する頑張りを称賛する。 | |

11 板書計画

Unit6 Let's think about our food. Eye contact Clear Voice Enjoy mistakes Listen carefully

Target Our Goal をつくり、学習計画を立てよう。

Eight Up!



Unit6 Our Goal

学習計画